

令和元年度 第5回 成田市総合計画審議会会議録

1 開催日時

令和2年1月28日（火） 午前10時00分～午前10時50分

2 開催場所

成田市役所本庁舎3階 第二応接室（成田市花崎町760番地）

3 出席者

（委員）

野平会長、山崎副会長、宮委員、末崎委員、竹林委員、金崎委員、菅野委員
石井委員、浅野委員、大野委員、下田委員、一鍬田委員

（事務局）

企画政策部 郡司部長

企画政策課 米本課長、宮田課長補佐、平野主幹、青菜副主査、中村主任主事

4 議事（要旨）

（1）「NARITA みらいプラン」第2期基本計画（最終案）について

- ・「NARITA みらいプラン」第2期基本計画（原案）に加え、基本計画策定の主旨や計画全体に係る序論、策定過程や用語解説などの資料編などを新たに掲載した最終案について説明を行った。

（2）「NARITA みらいプラン」第2期基本計画（案）に係る答申について

- ・「NARITA みらいプラン」第2期基本計画の策定について、令和元年12月16日付けで小泉市長より諮問を受けていることから、本審議会としての答申の内容について協議を行った。

5 質疑等

(1) 「NARITA みらいプラン」第2期基本計画（最終案）について

□資料編に掲載されているワークショップの概要について説明を。（宮委員）

→国際医療福祉大学とのワークショップについては、「今後の成田市のまちづくり」をテーマに学生22名にご参加いただき、若者らしい視点から多くのご意見をいただいた。生涯大学院とのワークショップについても同様のテーマで実施し、ご参加いただいた生徒21名から様々なご意見やご提案をいただくことができた。続いて、成田市職員ワークショップについては、本市の政策形成の担い手となる主査、副主査級の若手職員を対象に実施し、56名の職員にご参加いただき、「未来の成田」について幅広く意見を出し合っていた。最後に、市民ワークショップ「なりた☆未来予想図」については、市民の方を対象に実施し、職員ワークショップに参加した職員13名を含めた計61名にご参加いただき、市民と職員が共に未来の成田について考えていただく良い機会となった。

□このワークショップは毎年実施しているのか。（宮委員）

→企画政策課では市民を対象に年2回程ワークショップを実施しているが、今回は「NARITA みらいプラン」第2期基本計画の策定に向け、テーマを絞って複数回実施した形となる。

□SDGsの理念を次期基本計画に取り入れた背景は。（山崎委員）

→SDGsは世界規模で達成を目指す目標として、国から地方自治体へ各種計画にSDGsの目標を反映するよう要請している状況であり、本市議会においてもSDGsについての取り組みを進めるべきとのお話をいただいていることから、本市については、第2期基本計画において各種施策に関連付いたSDGsの17のゴールのロゴマークを掲載し、まずはSDGsについての意識醸成を図っていくこととしたものである。

(2) 「NARITA みらいプラン」第2期基本計画(案)に係る答申について

□医療都市の実現や新たな市場の再整備等、これらは市として大きなポイントとなってくると思うが、未来に対する計画を着実に実行していくためにも、留意事項にこれらの内容を詳細に明記してはどうか。(末崎委員)

→それらの事業は市にとって重要な施策であることから、可能であれば提案どおり明記していただいた方が良いと思うが、留意事項の中にどのように組み込めばよいか難しいところである。(山崎副会長)

→留意事項である9点は施策を達成していくための具体策であることから、大きな計画等の内容については、特段こちらに記載しなくてよいのでは。(金崎委員)

→金崎委員のご指摘どおり、留意事項については施策を達成していくための具体策を記載すべきであることから、提案させていただいた内容については明記しない形で進めていただきたい。(末崎委員)

6 傍聴

1名